



市長室だより

城を再現

難攻不落と言われる月山富田城跡の謎解きができるジオラマ模型を歴史資料館1階に設置しました。城の規模や防御施設の配置、城下の様子など、全盛時代の同城を理解することができます。

この模型は平成27年度から進めている富田城整備事業の一環として製作しました。整備した城跡をより深く理解していただくためのものです。製作にあたっては江戸時代に描かれた絵図を参考に、江戸時代初頭の堀尾氏が治めていた頃の様子を再現しました。中世の尼子時代の山城に、近世の城郭の要素が加わった移行期の様子です。専門家のアドバイスを受けながら、城下町を含む1.4km四方の範囲を600分の1のスケールで製作しています。

模型の見どころは多々あります。全国で屈指の大きさを誇るお城の前に、現在は川底に埋まり見ることができない城下町が広がり、その先には富田川(飯梨川)が流れる当時の景観は、難攻不落であることを伺い知ることができます。また、各曲輪には、細部にまでこだわった櫓や御殿などの建物模型を配置していますのでぜひ、ご覧いただきたいと思えます。

模型を見ながら月山富田城の城主になったつもりで「ここからは攻められない」「ここを突破されても次の防御がある」など、お城の攻守を想像すると、いかに攻めにくく守りが堅いお城であったかがよく分かります。

市長 短信



◀ 模型の大きさは3m四方、スケールは平面が600分の1、高さが450分の1です。

- 2 市長室だより
- 3 市政トピックス
- 4 特集：防災研修棟・市民広場が完成
市街地の防災機能を強くする
- 6 国保税・市県民税・介護保険料
- 8 新しい災害情報/加納美術館だより
- 9 人権を考える/市長会通信⑩
- 10 健康の窓
- 11 新刊図書紹介
- 12 たうんとぴっくす
- 14 「ジョーホーの森」各種お知らせ
- きらり光る地域(裏表紙)

別刷 市民カレンダー

6月の行事/日曜日・祝日診療など

今月の表紙

いにしえから続く御田植神事

田起こしから田植えまでの稲作作業を奉納する御田植神事。白衣に烏帽子姿の駄使いが木製の鋤で代かきの様子を面白おかしく演じます。時には見物人との即興の掛け合いも。中世以降の農作業の様子を伝える貴重なお祭りです。(安来市指定文化財)

撮影日/5月5日 場所/赤江八幡宮(赤江町)